

アイリスLetter



2018年9月29日発行

第5号

広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

聖書のことば

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

テサロニケの信徒への手紙 一 5章16節～18節

9月に入り、やっと体に優しい気候となりました。今年の前半は、自然の厳しさを実感するものとなりました。夏休み期間中の部活動の時間にも制約をかけましたが、生徒の皆さんはしっかり対応してくれました。大きな事故もなく2学期を迎えられたことに感謝します。7月に予定されていた、中2チャレンジキャンプが、9月7・8日に行われました。このキャンプは、中2の生徒のみの行事ではなく、高1・2の生徒がリーダー、中2生がメンバーとなる班を作り臨むものです。タイムスケジュールも班によって異なり、班員が立てた目標達成にチャレンジします。恐羅漢登山を終え、テントを設営しようとした時、雨が激しくなりました。とても大変な状況だなど、キャンプ場を見て回りました。班員の協力もむなしく、自然の力が上の状況でした。しかし、その夜一人も保健室に来ることなく、無事に過ごせました。ひとり一人は当たり前前の行動であったと思うかもしれませんが、中2生、高校生リーダー、教員の参加者全員のこのキャンプを大切にするという思いが、このことを成し遂げたと思います。苦しかった時、きつかった時、友達のことを思い、声をかけ動いたこと、それが祈りです。

さて、10月の行事を迎えます。2年前から、中3の長崎研修旅行ではグループ行動の時間を増やしました。高2の沖縄修学旅行では、平和学習のための訪問場所をクラス行動でなく個人の希望で選び臨みます。ひとり一人が、何を大切にするかを問われています。学校では毎日11月の文化祭等に向け、忙しい生徒の姿があります。そんな中で、大切にしているものは何でしょう。自分にとって何が大切か。また、それを為すために、どう動くか。それを思うことも祈りです。

神様は、いつも・絶えず・どんなことにも、一人一人を覚え、愛してくださいます。そのことを知り、しっかりと歩む2学期としましょう。

(校長)

8・6 平和祈念式・平和記念礼拝

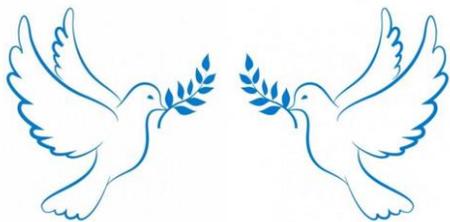
生徒・教職員350余名が原爆の犠牲となった体験は、本校の平和教育の原点となっています。

8月6日午前10時より、ご遺族・関係者の方をお迎えして平和祈念式が行われました。その中で、平和を祈る週に中学全校生徒が折った千羽鶴の献納、高校茶道部の献茶、中学YWCA部のハンドベル演奏などがあり、最後に女学院の原爆慰霊碑前で参加者が献花をしました。

午後1時30分からは、中1、中3、高2の生徒が出席し、多くの来訪者の方々と共に、平和記念礼拝を捧げました。

講師の近藤紘子さんは、生後8カ月で爆心地から1.1キロにある広島流川教会の牧師館で被爆。父の谷本清牧師は、被爆した少女や孤児の救済活動に取り組みされた方です。紘子さんは、10歳の時、エノラ・ゲイの副操縦士キャプテン・ルイス氏に会う機会があり、原爆投下直後の広島の街を見て、「おお神よ、私達は何ということをしてしまったんだろう」と思ったと知り、「憎むべきは人ではなく、戦争を起こす人間の心の中の悪」と気づかされたそうです。

現在は、国内外で体験や平和を伝える活動をされており、最後に「次の時代はあなたがたが作っていく。私の願い・希望を託していきたい」と語られました。



(宗教教育委員会)

中1 父親母親教室

9月14日(金)、中1父親母親教室が行われました。まず本校カウンセラーから“親と子が幸せになる「XとYの法則」

ー「待つ」ということー”と題し、思春期の子どもへの親の接し方について話があり、それを受けグループに分かれての話し合いに移りました。

そこでは、家庭での時間の使い方やスマートフォンについて、また親としてどのように見守るべきかといった意見が出されるなど、各グループで活発な話し合いが行われその思いを共有されていました。本当に生徒の皆さんが大事に育てられていることを改めて感じました。

中1にとっては1学期を過ごしたとはいえ、まだスタートしたばかりの中学校生活です。私たち教師は保護者の方々とともに、生徒一人ひとりを見守り、指導していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

中1の役員の皆様、お世話いただきありがとうございます。

(中学教頭)

中2中3 父親母親教室

今年の中2中3の父親・母親教室の開催は7月21日(土)、1学期終業後に行われました。ソーシャルメディア(ツイッター、インスタグラムなどのSNSをより広範に定義したものです)をめぐる子どもたちの現状と家庭でできる指導をテーマに、全学年から約60名の保護者の方に御出席いただきました。今年参加された保護者の感想や意見を御紹介して報告に替えさせていただきます。

「アプリの種類の多さに驚きました」「知らないアプリも多く、大人にもためになるお話でした」という感想や、「子どものスマ

ホの使用状況を知ることの大切さを痛感し、しっかり向き合う必要性を感じた」「親子で話し合って実態を確認し、ルールや制限を改めて決めたい」という意見があり、各家庭の御事情も垣間見えるものでした。反発を招くことへの不安、ソーシャルメディアのもつ危険性を子どもが意識していないことへの心配など、参加いただけなかった皆様も御家庭で似たような悩みをお持ちなのではないかと思えます。大人がしっかりとした知識を持って学校とも連携をしていくことが大事であると考えます。

(生徒支援部)

中2チャレンジキャンプ

9年目を迎える中2チャレンジキャンプ。今年は豪雨災害のため延期になり、9月7日・8日の1泊2日に変更し、芸北の自然豊かな地で行われました。

例年と同じく、中2生徒4～5名に、高校生リーダーが一人付き、一つのグループを作りました。短い日程でしたが、雨の中で行ったテント設営や、飯盒炊さんでつくるカレー作りなど高校生リーダーを中心に中2も一生懸命取り組みました。また、恐羅漢登山では、リーダーと励まし合いながら、全グループ無事に山頂に着くことができました。あいにく山頂からの景色は見えませんでした。下山後の表情には達成感あふれ、中2にもそしてサポートしたリーダー達にも自信がついたようでした。

途中、土砂降りや激しい雷が鳴るなど、自然の驚異を感じることもありました。そういう体験の中で生徒は一回り力強くなったと思います。普段の生活にはない困難に、日頃の生活や家族への感謝を深く感じたのではないのでしょうか。



解散式ではお世話になった高校生リーダーとの名残を惜しむ中2の姿が印象的でした。

(チャレンジキャンプ委員会)

おさんぽ女学院

7月16日(月・海の日)に、小学生対象オープンスクール「おさんぽ☆女学院」を開催しました。今年からすべてのプログラムを二部制にして、少しでも多くのお客様にたくさんの体験をしていただくようにしました。「ホールでまるごと女学院(新体操部の演舞・生徒による学校紹介・入試解説)」や、「授業体験(英語・数学・社会・理科)」、「クラブ体験(バレーボール・バスケットボール・卓球・剣道・吹奏楽)」、「制服試着コーナー」、「SGH課外活動・行事紹介」、「食堂体験」、「女学院ツアー」、「クイズラリー」などのプログラムを準備しましたが、どのプログラムも事前の予約がすぐ埋まってしまうほどの大盛況で、当日の来場者は小学生女子だけで600人を超えました。大変ありがたいことです。

また、今回もたくさんの生徒に、各プログラムの企画・運営・準備に携わってもらいました。いやな顔一つせず、「どうやったら小学生に楽しんでもらえるか」と真剣に考え、実行してくれました。イベント後に小学生の保護者の方に行ったアンケートでは、「生徒さんが全て仕切ったオープンスクールで、とても良い校風、それから自立心の高い生徒さんばかりで素敵な校風だと感じ



ました」、「生徒さんがクラブ体験や授業体験でわかりやすく教えてくれたので、娘が女学院に強くあこがれるようになった」など、女学院生の姿を高く評価してください。回答をたくさんいただきました。女学院生の姿をお伝えすることが本当の広報活動であると、教員一同再確認させられました。

(広報部)

学校教育を考えるセミナーのご案内

去年から継続的に開催しているセミナーは、今年度は5月19日にシリーズの第6回目を開催し「新大学入試で求められる力」という演題で、ベネッセコーポレーションの武吉麻衣さんにお話して頂きました。シリーズの第7回目は8月13日に「成績を伸ばすということ」という演題で灘中学・高等学校の英語科教諭の木村達哉先生に講演して頂きました。第8回目は11月10日(土)に本校卒業生の北岡美佐子さん(ニュージーランド大使館エデュケーション・ニュージーランド駐日代表)をお招きして保護者対象の教育講演を企画しております。講演内容の詳細などは近いうちに本校のホームページなどに載せる予定です。多くのみなさまの来校をお待ちしております。

(広報部)

18名は、オーストラリア・メルボルン郊外に位置するキルビントングラマースクールでのホームステイ研修に参加しました。

到着した当初は英語しか通じない環境や生活習慣の違いに戸惑っていましたが、徐々に発言や質問をすすんでできるようになりました。また、日本語や体育、芸術など様々な授業に参加させていただき、グループやペアでの活動をしながら現地の生徒達と交流しました。

8月6日には”Peace Day”として、広島や平和に関するプレゼンテーションを行いました。生徒達は日本で準備してきたパワーポイントをみせながら、原爆や広島の復興、女学院での平和活動、サーロー節子さんについて英語で説明をしました。キルビントンの生徒達はとても真剣に聞いてくださいました。その後、ともに輪になって祈りを捧げ、平和を祈りながら折鶴を折りました。

2週間というわずかな時間でしたが、生徒達は英語力の向上もさることながら、自らすすんで行動することの大切さ、異文化におけるコミュニケーションの取り方など、研修を通してたくさんを学びました。



(グローバル教育推進部)

夏休み GEC 活動報告

詳しくは、広島女学院中高 HP の
‘SGH ブログ’をご覧ください。

I. 夏期海外生活体験学習

7月26日から8月11日まで、中3生徒

II. Peace Forum

8月7日(火) Peace Forumを開催しました。このフォーラムはハワイのプナホウ高校(オバマ前アメリカ大統領の出身校)と本校との小さな交流会としてスタートし、今年は10年目という節目の年でした。ハワ

イをはじめ、沖縄、東京、大阪など10校より150余名もの参加者をお迎えしました。今年の議題は「核兵器禁止条約」です。条約に参加しなかった国の状況を事前にリサーチし、報告し合ったうえで、どのように核軍縮の輪を広げていくか提言をまとめました。各グループの提言について、戸崎洋史氏(日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター主任研究員)、向和歌奈氏(亜細亜大学国際関係学部講師)のお二人からフィードバックをいただきました。両氏は、「若い皆さんから、世界を変えようというしっかりした理想、ビジョンを示してもらった」と語ってくださり、非常に高く評価してくださいました。



(グローバル教育推進部)

Ⅲ. 模擬国連

夏休み、2つの模擬国連大会がありました。ひとつは、7月19日～20日に実施されたMUN OSAKA(模擬国連大阪)・8名参加です。MUN OSAKAは英語で議論することを中心にした大会で、議題は健康・福祉、食料安全保障、気候変動対策でした。本校の参加者は、ジャマイカ、カンボジア、フィンランド、ルワンダの代表になりきって、それぞれの議論に臨みました。7月24日～25日には、本校を会場にして広島模擬国連大会を開催しました。主催するのは初めての経験でしたが、AICJ高校、修道高校、ND清心高校、広島学院高校など市内の多数の学校から参加者が集まり、白熱した議論が行われました。



(グローバル教育推進部)

Ⅳ. 核廃絶 夏の街頭署名活動

例年のない暑さの中でしたが、今年の夏も署名活動を実施しました。台風上陸の為、今年は市長との結団式を行うことはできなかったのですが、生徒たちは意欲的に活動に取り組みました。署名活動は、7月28日、8月2日、3日、4日、5日に、元安橋・原爆ドーム周辺・本通りパルコ前・八丁堀福屋前で行いました。本校生徒をはじめ、県内外・海外からも参加者が集まり、延べ本校136名、他校202名もの生徒が街頭に立ちました。署名は平和首長会議を通じて国連に送られます。

交流会では、7月19日に広島学習で来校した女子学院の高校1年生が来校し平和について互いに話し合いました。また7月31日～8月1日には神戸女学院・金城学院・広島女学院の交流会を行いました。他校の先生方からは、署名実行委員の生徒たちは意識が非常に高く、プレゼンテーションにも優れているという評価をいただきました。忙しい夏を通してしっかりと成長しています。活動を支えてくださっているみなさんに感謝します。

(署名実行委員会)

Ⅴ. 碑巡り案内

例年のない酷暑の中でしたが、夏休みに碑めぐりを行いました。今年は、県外・海外10の学校・団体に平和公園を案内しました。来校者には、東京女子大学の有志学生、アメリカや中東の方もおられ、英語で案内

することもあります。今年初めての取り組みは、中学3年生による碑めぐり・プレゼンテーションを行ったことです。東京の公立中学生や市役所職員に対して、平和公園を案内し平和学習を紹介する取り組みです。それぞれが自分の言葉で語り、パワーポイントも自在に使いこなす姿を、他校の先生方・市役所の方々が絶賛されていました。日々の学びの中で、しっかりとコミュニケーション力、プレゼンテーション力が鍛えられていると実感しました。



(碑巡り担当)

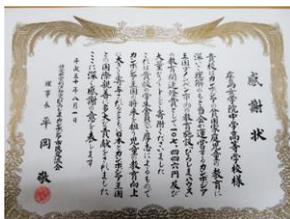
VI. ひろしまハウスへの募金の報告

カンボジア研修で交流しているひろしまハウスが資金難ということで、6月25日から29日の間、校内にて募金活動・支援物資集めを行いました。多くの支援を頂きまして、107,446円と多くのノートを寄付することができました。ありがとうございました。

9月19日には、ひろしまハウスを運営するNPO法人ひろしまカンボジア市民交流会より、感謝状を頂きました。カンボジアの発展と両国のさらなる交流を期待しています。

(ひろしまハウスURL：

<http://hiroshimahouse.com/>)



(GEC)

保健室だより (5)

今年の夏は例年以上に暑さが厳しく、熱中症の様な症状を訴える人が多くいました。

最近朝晩涼しくなってきましたが、夏の疲れや気温差もあり、体調を崩す人、身体のだるさを訴える人が多くいます。修学旅行や遠足、文化祭など、何かと行事の多い2学期です。疲れが溜まりやすい時期ですが、上手に休養をとって体調を整え、充実した日々が送れるようにしましょう。

(保健室)



心の健康 (5)

10月は気候がよいので、学校でも町内でも行事が多くなります。行事に参加すると、どうしても他の人に気をつかい、人間関係のことで頭がいっぱいになります。人との交流は楽しいし喜びを感じ、やる気が出てきます。また、体を動かし行動することが多いので、充実感や満足感を得ます。だけどそれだけではなく、とても疲れます。心も体も疲れます。

活動の後は休息を！外の世界に心を向け行動した後には、静かに自分の内面に向かい合う。この活動と休息のバランスに配慮したい10月です。

中・高生は家庭でいろんな姿で疲れを示し回復しようとしみます。寝てばかり、ダラダラしたり、イライラしたり、やたら食べたり、喋りまくったり、不規則な生活をしたり、と。大人は慌てないで、バランスの視点を持つことで状況を理解していきましょう。

(カウンセラー)



生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

* 広島県中学校新体操選手権大会

団体：1位

⇒団体中国大会へ進出

* 中国中学校新体操選手権大会

団体：5位

* 第66回広島市中学校総合体育大会

団体：Aチーム 1位

⇒県総体へ進出

Bチーム 2位

◇中学バレーボール部

* 第66回広島市中学校総合体育大会バレー
ボール中区大会 3位

◇中学合唱部

* 第83回NHK全国学校音楽コンクール 広
島県コンクール 銀賞

* 第57回広島県合唱コンクール 銀賞
⇒中国合唱コンクールへ進出

* 第57回中国合唱コンクール 銀賞

◇中学卓球部

* 広島市中学校総合体育大会 卓球の部
中・南区大会

団体：Aチーム 1位

Bチーム 1位

個人：N・M（3-3） ベスト4

◇中学ソフトテニス部

* 広島市中学校新人ソフトテニス大会
安芸・中ブロック個人戦

O・M（2-2）

O・M（2-2）ペア 1位

A・A（2-5）

N・M（2-5）ペア 5位

H・M（2-4）

S・A（2-2）ペア 7位

T・S（2-2）

H・H（2-2）ペア 10位

⇒上記4ペア、市大会へ進出

◇個人の活躍

* 第58回広島県中学校水泳競技選手権大会

K・Y（3-3）

400m自由形 5位

800m自由形 5位

* 第66回広島市中学校総合体育大会水泳競技の部

K・Y（3-3）

400m自由形 5位

800m自由形 3位

* 第67回広島市中学校総合体育大会水泳競技の部

K・Y（3-3）

400m自由形 6位

800m自由形 7位

* 広島市中学校新人水泳競技大会

K・K（1-3）

400m自由形 8位

* 第72回広島天満書道祭

Y・M（3-2） 広島テレビ放送
賞

* 第42回ピティナ・ピアノコンペティシ
ョン

S・R（3-2） 西日本グランシ
ューズ地区本選入選

《高校》

◇高校新体操部

* 広島県高等学校新体操選手権大会

団体 : 2位

個人 : 一部総合

M・R (2-E) 3位

M・K (2-A) 4位

T・H (2-A) 5位

M・H (1-B) 6位

O・T (1-F) 8位

: 二部総合

K・H (2-C) 1位

* 広島地区高等学校新体操秋季大会

個人 : 一部総合

M・R (2-E) 3位

O・T (1-F) 4位

M・H (1-B) 5位

T・H (2-A) 6位

M・K (2-A) 7位

: 二部総合

K・H (2-C) 1位

◇高校卓球部

* 平成30年度広島市高校卓球選手権大会

女子ダブルス

S・N (2-D)

N・M (2-D) ペア 5位

O・U (2-A)

S・N (2-C) ペア 5位

◇高校水泳部

* 広島地区秋季水泳競技大会

個人 : G・R (1-C)

200m自由形 7位

⇒ 上記種目と400m自由形で県大会出場

H・T (2-B)

100m・200m平泳ぎ

I・A (1-A)

100m・200m自由形

⇒ 以上2名、上記種目で県大会出場

◇高校音楽部

* 第57回広島県合唱コンクール 金賞

* 第85回NHK全国学校音楽コンクール
広島県大会 金賞

* 第85回NHK全国学校音楽コンクール
中国ブロックコンクール 奨励賞

* 第57回中国合唱コンクール 銀賞

◇個人の活躍

* 弘法大師奉賛 第五十三回高野山競書
大会

O・Y (1-A) 推薦

《中高》

◇中高マンドリン部

* 全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール
優秀賞

泉佐野市長賞 (第4位)

◇中高吹奏楽部

* 第59回広島県吹奏楽コンクール

高校A部門 銅賞



教職員の動向

○事務の小坂好将主任が7月25日にお亡くなりになりました。ご生前のお働きに深く感謝し、ご冥福をお祈りいたします。ご家族の皆様にも主の平安がありますことをお祈りいたします。

広島女学院メサイア演奏会、男声合唱 団員募集

10月行事予定

恒例のヘンデル作曲「メサイア」演奏会を、今年も12月23日(日)17時30分より、ゲーンズホールにて開催します。合唱には例年多くの皆様のご協力を頂いておりますが、男声の合唱メンバーが不足しております。保護者の皆様方でご希望の方はふってご参加くださいますようお願いいたします。お申し込みは、下記参照の上、メールで送信願います。

・メールの「件名」は「メサイア合唱(男声)参加申し込み」と明記してください。

・記入事項

- ①お名前
- ②パート名(テノール又はバス)
- ③ご住所
- ④電話番号(練習等に関する緊急連絡用のみ使用)
- ⑤お子様のお名前と学年

※メールの宛先 office@hjs.ed.jp



今月の聖句

「兄弟たち、あなたがたが召されたときのことを、思い起こしてみなさい。人間的に見て知恵のある者が多かったわけではなく、能力のある者や、家柄のよい者が多かったわけでもありません。ところが、神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選びました。」

(コリントの信徒への手紙1、1:26・27)

(聖書科Y. I)

1	月	創立記念日 冬服更衣
2	火	高2修学旅行 7限 高1PTS(選択科目)
3	水	中3研修旅行
4	木	中1ハイブルテイクアップ(4限~6限)
5	金	中1、2、高1、3遠足
6	土	振替休日(9月29日) 英語検定(学校実施) 高3ベネット駿台記述模試
7	日	
8	月	体育の日 私学フェスタ(広島)
9	火	7限高2PTS(選択科目)
10	水	
11	木	
12	金	PTAバザー収集日
13	土	保護者対象入試説明会
14	日	
15	月	
16	火	中間テスト(高3)
17	水	(中1・2・3、高1・2) 1限8:55~ 15分休憩
18	木	1限8:55~ 15分休憩
19	金	1限8:55~ 15分休憩
20	土	振替休日(10月13日) 高1駿台全県模試(希望者)
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	高3ベネット駿台マーク模試(午後) (中学)漢字検定
28	日	
29	月	高1,2進研模試(5限まで) 6限高1,2LHR(高1,2は6限で終了) 高3ベネット駿台マーク模試(全日) Ⓞ 1~4限学力推移調査、5,6限授業
30	火	中間テスト素点確認
31	水	5,6限中2,3論理力評価テスト